

7	「いろいろな問題」 計算の工夫	年 組 番
名前 (		)

さくらさんは、1から10までの整数の和がいくつになるか、次の方法で考えました。



【1から10まで】の場合

2組の1から10までの数を、下のようにならべてたします。

$$\begin{array}{cccccccccccc}
 (1) & + & (2) & + & (3) & + & (4) & + & (5) & + & (6) & + & (7) & + & (8) & + & (9) & + & (10) \\
 (10) & + & (9) & + & (8) & + & (7) & + & (6) & + & (5) & + & (4) & + & (3) & + & (2) & + & (1)
 \end{array}$$

↓

11

11のかたまりが10個できるので、  
 $11 \times 10 \div 2 = 55$  となり、  
 1から10までの整数の和は、55になります。

さくらさんが考えた【1から10まで】の場合と同じ求め方で、【1から100まで】の整数の和を考えると、どのような式と説明になりますか。下にある求め方の、の中に式や数を書きましょう。

【1から100まで】の場合

2組の1から100までの数を、下のようにならべてたします。

$$\begin{array}{cccccccccccc}
 (1) & + & (2) & + & (3) & + & (4) & \cdots & \cdots & \cdots & (97) & + & (98) & + & (99) & + & (100) \\
 (100) & + & (99) & + & (98) & + & (97) & \cdots & \cdots & \cdots & (4) & + & (3) & + & (2) & + & (1)
 \end{array}$$

↓

のかたまりが  個できるので、  
 となり、  
 1から100までの整数の和は  になります。

ここから下は先生がチェックをします。(どちらかあてはまるほうに必ず☑)

- 自分の考えを分かりやすくかけています。より分かりやすくかけるように努力しよう。
- 自分の考えをかこうとがんばっています。その態度が素晴らしい。つづけよう。